



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立中丹支援学校 】

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	PTA(児童生徒含む) 中丹支援学校小学部1～6年生(全員)47名 福知山市立遷喬小学校4年生(全員)58名 中丹支援学校中学部1～3年生(全員)38名 福知山高等学校附属中学校1年生(全員)40名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(特別活動、総合的な学習の時間) ② 行事名(交流及び共同学習) ③ その他(PTA 地域行事)
4 目標 (ねらい)	パラリンピック正式種目の「ボッチャ」やその他の障害者スポーツを通して、児童生徒が障害者スポーツに親しむとともに、様々な人とコミュニケーションを図ることで、自己肯定感を育む。
5 取組内容	(1)PTA 地域行事 PTA が主催する地域行事において、パラリンピック正式種目のボッチャを取り入れることで、保護者及び小学部から高等部までの児童生徒の交流を図った。 (2)交流及び共同学習 ア 小学部 コロナ禍でリモート交流となったが、両校混合のチームを作り、リモートでボッチャを行った。 イ 中学部 福知山高等学校附属中学校との交流及び共同学習において、「中丹パラリンピック」を昨年度に続いて実施し、パラリンピック正式種目のボッチャや卓球バレー、フライングディスク(アキュラシー)等の障害者スポーツを一緒に行った。 <福知山地域行事>  <綾部地域行事> 

	<p>＜附属中学校との交流及び共同学習＞</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 交流校で事前学習を行ったため、リモートでの関わりであってもスムーズに交流することができた。 • 直接顔を合わせなくとも、リモートでポッチャを行い、児童同士の関わりがみられた。 • 交流校と事前準備を分担する等したため、当日もお互いが主体的な態度で接し、対等の関係ができた。 • 障害者スポーツを中心とした活動を行うことにより、相互理解が深まるとともに、オリンピック・パラリンピックへの興味、またスポーツを楽しむ心情を育てることにつながった。
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 交流校へ事前にポッチャの道具を貸し出し、競技に親しんでもらったり、各校で役割分担して準備を進めたりして、交流及び共同学習を行うことで、対等の関係を築く機会となった。 • 一堂に会さなくとも、リモート上でポッチャを行うことを検討し、実施できた。 • 障害特性に合わせて支援グッズを活用することで、一人一人が自信をもって取り組むことができた。 • 競技ごとに事前に打ち合わせをすることで、当日スムーズに運営できるようにした。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 交流会場への移動にバスを利用するため、費用の面が課題となる。 • 細かなルールまでお互いが理解していれば、さらに楽しむことができた。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度以降も交流及び共同学習を継続し、児童生徒一人一人が対等な関係を結ぶことで、共生社会を築くきっかけとしたい。そのために、年間指導計画に組み込み、ねらいを明確にした取組となるように充実させていく必要がある。